

こ ん に ち は



若草の緑が眩しい季節になりました



令和4年 4月号



令和4年4月より安全運転管理業務が拡充されました

交通安全

自家用車の台数が一定数を越える事業所には、安全運転管理者を選任するよう道路交通法で定められています。当事業所も一定数を越える自家用車を保有しているため、管理者を選任し、日々安全にご利用者宅に訪問できるよう安全運転管理業務を行っていました。

安全運転管理業務の内容（一例）

運転適性の把握）運転記録証明書・免許証の有効期限や運転技術などを確認する
交通安全教育と安全運転指導）必要な知識、技能を習得するための教育や指導を行う
異常気象時の措置）安全運転に支障が生じる場合は、訪問を調整し運転を控える
運転日誌の備え付けと記録の管理）運転日誌を車両に備え付け、記録をお願いする

この度、昨年6月に千葉県八街市で発生した飲酒運転事故をきっかけに道路交通法が改正され、安全運転管理業務が拡充、以下の内容が義務化となりました。



4月1日～施行

- 運転前後の運転者の状態（酒気帯びなどの有無）を目視で確認する
- 酒気帯びの有無を記録し、その記録を1年間保存する

10月1日～施行

- 運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行う
- アルコール検知器を常に使える状態にし、保持すること

【より安心・安全な訪問に向けて ～職員全員を対象に研修会を実施しました～】

道路交通法改正による酒気帯び確認とその運用方法を共有し、4月から実際に運用を開始しています。また、ここ3年で発生した事故・違反を、写真などを用いながら具体的に振り返りました。車両には「安全運転チェックリスト」を常備し、日々の意識づけを図っています。目標は「事故0」「違反0」です。その達成に向けて、引き続き日々の安全運転・交通安全を心がけ、訪問してまいります。



都筑区医師会訪問看護ステーション	TEL 045-913-5181
都筑区医師会ヘルパーステーション	TEL 045-913-3577
都筑区医師会24時間在宅ケアステーション	TEL 045-913-3577
都筑区医師会居宅支援センター	TEL 045-910-6327
都筑区医師会福祉用具センター	TEL 045-911-6100
都筑区医師会ナーシングホーム	TEL 045-913-6321

看護・介護・福祉用具・24時間在宅ケア

居宅

FAX 045-911-6700

FAX 045-910-6506

☆☆パソコンから在宅事業部門の活動内容を見ることが出来ます。ぜひご覧下さい☆☆

健康まめ知識



春・夏・冬の3シーズンで旬を迎える「キャベツ」、炒め物や揚げ物の付け合わせ、鍋やお味噌汁、サラダなど、色々な調理方法で活用できる食卓の万能野菜です。今回はそのキャベツの健康まめ知識をお届けします♪キャベツはビタミンUを多く含んでいるのが特徴で、別名「キャベジン」とも呼ばれています。胃や十二指腸の健康を保つのに優れた効果があり、市販されている胃腸薬のキャベジンもこの成分が由来となっています。揚げ物の付け合わせでキャベツが多いのは、胸やけを防ぐ効果が期待されているからです。他にも、血液凝固作用のビタミンK、骨や歯の構成作用があるカルシウム、目の健康維持作用のβカロテンやミネラルを豊富に含んでいます。健康維持に効果的なキャベツですが、気をつける点があります。キャベツに含まれるビタミン類は水溶性なので、水につけ過ぎると、ビタミンがどんどん逃げてしまいます。キャベツを洗う時はさっと洗って、水につけ過ぎないようにしましょう。ビタミンを効率的に摂るには生食がお勧めですが、生のキャベツは体を冷やす性質があるので、冷え性の方は食べ過ぎないのが注意点です。



編集後記

気温が低くなった3日、4日は雨が降り続き、桜が散る日となりました。桜の花を散らす雨は「桜流し」や「桜雨」と呼ばれるそうです。桜が散るのは少し寂しいですが、とても素敵な響きですね。また、桜が咲いた後に再び寒くなるのを「花冷え」とも呼ぶそうです。4月も中頃となり、花や緑をより感じられるようになりました。人混みを避けながら、季節の花を見て、春を感じたいと思います☆

コロナ対策が奏功!? 2シーズン連続 でインフルエンザ患者数が低水準!

年明けとともに新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が猛威をふるい、感染拡大第6波となりました。一方で、同時流行が危惧された季節性インフルエンザの感染者数は昨シーズン同様、今シーズンも極めて少ない状態のまま推移し、国立感染症研究所は「今季も流行なし」と判断しました。コロナ禍の前は日本全国で1週間あたりの感染者数が数万~十数万人と報告されていたのが、今年もおおよそ50人前後で経過し、例年の1/1000以下の水準まで下がりました。インフルエンザはコロナウイルスと同様に、咳やくしゃみなどの飛沫感染で広がりますが、マスクの着用や手洗い・手指消毒の徹底、国外との往来の減少などのコロナ対策が功を奏したと思われる。



第5回 都筑区多職種連携

オンラインの集いを開催しました



12月の4回目につき、3月30日に都筑区医師会地域多職種連携協議会主催で「コロナ事情を話し合おう」というテーマで開催しました。「陽性者が発生した時の周知がバラバラ」という意見から、各事業所の状況を共有しました。また、一つの地域ケアプラザのエリアで多職種が自発的に行なっている「からだ相談会」という活動の紹介があり、区内の他のエリアにも広げたいと刺激を受けました。

【目安】

ご意見、ご要望などは、いつでもご遠慮なく、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。

913-5181 統括管理者 吉井